

千葉学習センター客員教員による

「ミニゼミ」受講生募集！

「ミニゼミ」は放送授業や面接授業と違い、少人数で教員を囲みながら、各教員の専門分野をテーマに、発表、討論、実験、観察、課外活動など様々な学習スタイルで行われています。年齢や性別も異なる学生のみなさんが、指導教員のもと、共通のテーマを学びながら毎回楽しく活動しています。興味のあるテーマを学ぶとともに、他の学生や教員と交流していただくことも目的としていますので、試験や成績判定といったことはありません。2025年度後期は12講座のゼミを開講し、10講座のゼミで受講生を募集します。放送大学の学生であれば、どなたでも無料（一部ゼミは費用負担あり）で参加できますので、ご興味のある方は、是非お申込みください。なお、2020年度よりZoomを利用した遠隔ゼミを実施するゼミがありますので、ご自宅等のネット環境等をご確認願います。

【参加申込方法】 10月5日（日）14時から申し込みを開始します。

- ① 「ミニゼミ参加申請書」（千葉学習センターウェブサイトトップページ・ロビーなどで配布）に必要事項を記入のうえ、**学習センター窓口もしくはメールにてご提出下さい。**メールアドレスは「chibagaku_soumu@ouj.ac.jp」です。
※原則先着順とし募集定員がオーバーした場合は、その時点で募集を終了します。また、電話、郵送等での受付は行いません。
- ② 申請書の提出後、学習センターより各講師へ申請書を送付し、講師から受講の可否について回答があり次第、センターより結果および次回開催日時をご連絡します。
※掲載内容は、2025年10月5日（日）現在のものです。今後、定員に達した時点で募集を中止します。
※見学も随時募集中です。気になるミニゼミがございましたら、お電話もしくはメールにて千葉学習センターまでお知らせください。

《千葉学習センター》
TEL: 043-298-4367
E-mail: chibagaku_soumu@ouj.ac.jp

保健の授業を学び直す（高橋先生ゼミ）

○講 師：高橋 浩之（放送大学千葉学習センター所長）

○募集定員：**10名程度**

○開催日時：第1、第3水曜日の14時～16時

相談の上、変更する場合もあります。新入生は10月15日(水)14時から。

○内 容：皆さんのはくは「保健」を中学・高校で受けた退屈な授業と考えているでしょう。しかし、実際には、新たな感染症から最新のがん治療、性についての自己決定から高齢者の健康、心肺蘇生法から医者のかかり方など、面白い上に人生の基盤になる内容を保健は扱っているのです。このゼミでは、高校の教科書を題材にその背景やさらに深い知識、また、発展的な内容に関してみんなで学んでいきます。

○受講条件：大修館書店の高校保健体育教科書「現代高等保健体育」（保体701）を教材とします。定価は736円です。教科書特約店でのみ売っているので、各自用意して下さい。



定員満了のため募集終了

子どもを理解し、子どもに学ぶ（金子先生ゼミ）

○講 師：金子 智栄子（埼玉純真短期大学特任教授／文京学院大学名誉教授）

○募集定員：**10名程度**

○開催日時：原則として、月1回、第4火曜日午後 10月21日（火）（第3週）12時30分～15時30分を予定

○内 容：子どもは可愛いですが、それ以上に面白い存在です。特に年齢が低いほど見るものすべてが新鮮で、この世は発見に満ちています。よちよち歩きの赤ちゃんは、知的好奇心に満ち溢れたキラキラしたまなざしをもっています。そのようなまなざしを大人になっても持ち続けられたら、人生は幸せなことでしょう。乳幼児期の体験は、その後の発達にも大きな影響を与えます。そこで、乳幼児期からの子どもの発達について共に学び、子どもの素晴らしさを共有したいと思っています。さらに受講生ご自身の発達についても、振り返る機会にしたいと思っています。

○受講条件：初回開講時に、参加者から今年度のゼミの内容についてご要望を伺います。状況によっては、ご相談のうえテキストを使用することがあります。ゼミは教室での対面を原則としますが、Zoomを利用した遠隔で実施する場合があります。

○予 定：10月21日（第3週）・11月25日・12月16日（第3週）・1月27日・2月10日・3月24日



地層の縞模様から読み解く大地の成り立ちと地球環境変動史（伊藤慎先生ゼミ）

○講 師：伊藤 慎（千葉大学名誉教授）

○募集定員：**10名程度**

○開催日時：原則として月1回、土曜日13時～15時で実施予定。10月18日(土)

○内 容：地層には様々な形、厚さ、長さ、高さなどを示す縞模様が観察されます。このような縞模様は「堆積構造」とよばれ、地層を構成する粒子が運搬され堆積するまでの一連のプロセスの特徴を記録しています。したがって、堆積構造の特徴から地層を形成した流れの種類、方向、速さや強さ、深さや厚さなどの特徴を解読することができます。さらに、堆積構造の特徴から、地層が形成された堆積環境の変遷やその要因を解読することもできます。このゼミでは、講義や文献の輪読、参加者のプレゼン、さらには室内実験や野外観察などをとおして、「堆積構造」の特徴と形成プロセスの理解を深めるとともに、堆積構造から読み取れる大地の成り立ちや太古から現在に至る地球環境変動史の理解を目指します。



○受講条件：室内実験や地層の野外観察を行うため、学生保険の加入が必要となります。野外観察では、現地集合現地解散を原則として、千葉県内あるいは周辺地域の地層を主な観察対象とする予定です。ゼミの資料は適宜配付する予定ですが、以下の2冊を参考書とします。

(1) Geo ワールド 房総半島 楽しい地学の旅 mihorin 企画

(2) フィールドマニュアル 図説 堆積構造の世界 朝倉書店

年に3回程度野外巡査（地層や岩石の野外での観察会）を実施する予定です。野外巡査では、トレッキングシューズとヘルメットの着用を原則とします。ヘルメットは、千葉学習センターから借用できます。巡査に参加される場合には、別途、実施要項をメールで連絡します。

偏光色アートを楽しもう（三野先生ゼミ）

○講 師：三野 弘文（千葉大学教授）

○募集定員：**15名**

○開催日時：10月19日（日）、11月23日（第4日曜日）、12月21日（日）、1月11日（第2日曜日）、2月15日（日）、3月15日（日）

いずれも13時～15時（変更がある場合は事前に連絡します）



○内 容：二枚の偏光板を透過軸を直交にして重ねると光が遮断されます。その間に透明なセロハンテープなどを挟むと、光が透過するようになります。枚数に応じて発色が変化します。この現象は偏光色と呼ばれます。この偏光色のしくみについて、物理学の視点から実測と数式を用いて学び、光と色の関係や偏光について理解いただいた上で、偏光色を使ったアート作品の制作なども行います。偏光色予測シミュレーションも使用を予定しており、その際は、別途指示いたしますが、PCをご持参いただくことになります。

○受講条件：ノートPC（Windows）をご持参いただくことがあります。

【用意するもの】①ご自分のパソコン（タブレット、スマホ不可）を用意することができるこ

②放送大学のWi-Fiに接続可能であること（接続については学習センターのWEBサイトをご確認ください。）

日常の風景を読み解く（八馬先生ゼミ）

○講 師：八馬 智（千葉工業大学教授）

○募集定員：**10名程度**

○開催日時：原則として、月1回、土曜日の13時～15時を予定 10月18日(土)、11月8日(土)、12月6日(土)、1月10日(土)、2月21日(土)、3月14日(土)



○内 容：身の回りの風景をじっくり眺めてみると、それまで見過ごしてきたさまざまな要素によって構成されていることに気がつきます。それらを手がかりにしながら、「観察」「考察」「洞察」を繰り返し行うことで、視野が拡張され、視界の解像度が高まり、自分なりの風景を再発見することができます。その体験は、地域や社会に内在する「文化」への深い理解に結びつきます。このゼミでは、受講生自身による「まち歩き」の実践を通じて、自分の中にある「面白い」という感情を呼び起こし、プレゼンテーションやディスカッションを通じた「言語化」を繰り返すことで、新たな価値を発見することを体験していただきます。

○受講条件：ゼミ時間外に各自でフィールドワーク（まち歩き）を実践していただきます。その成果として、スマートフォンやデジタルカメラなどで写真を撮影し、そのデータを指定の場所にアップロードしていただきます。受講に際しては、そのための環境が整っている必要があります。テキストとして、『日常の絶景 知ってる街の、知らない見方』（八馬智、学芸出版社）を用います。また、フィールドワークを行うため、学生保険の加入が必要となります。

ヴァイオリン・アンサンブルの楽しみ（伊藤誠先生ゼミ）

○講 師：伊藤 誠（桐朋学園芸術短期大学特任教授）

○募集定員：**定員満了のため募集終了**

○開催日時：木曜日（月3回開講）

○内 容：ヴァイオリンの構え方や正しい姿勢、楽器の手入れの仕方から始まり、音程づくりの初步はピチカート奏法（指で弦を弾く方法）で進めます。左手の型が身に付いてきた時点で、弓（ボウイング）を使って音を作っています。導入期の教材は「わらべうた」や「童謡」ですが、単に楽譜通りに演奏するだけでなく、簡単なアンサンブルの形態を取り入れながら、楽しく楽器に親しんで頂くことをねらいとしています。個別指導と集団学習を併用して進めます。他の受講生の練習を参観することも大切です。自分が属さないグループが参加する週に見学することは自由です。時間のゆとりがある方は予習・復習に役立てて下さい。

○受講条件：ヴァイオリン学習未経験の方々、大歓迎なのですが、簡単な楽譜が読めることと、楽器を持参できる方を条件に受け入れます。これを機に楽器の購入をお考えの方は、伊藤にご相談下さい。特に購入して頂くテキストはありません。課題（教材曲）は事前にお知らせします（メールによる添付ファイル）ので、予習を心がければ学習の効率が上がると思います。

毎回の時間配分は ①11時～12時、②13時～14時30分、③14時45分～15時30分 となっています。

①と③は全体指導（＝集団学習）、②は個別指導（＝個人レッスン）の時間です。

過去3回、指導の成果発表のため音楽会を第1講義室にて開催しました。現在のゼミ生は21名です。すでに3つのグループ分け（7名ずつ）ができます。受講者どうしで意見交換することも大切な時間になるでしょう。なお、毎月の全体指導の内容は3回とも同じです。

定員満了のため募集終了



スペイン語とスペイン・ラテンアメリカの文化（青砥先生ゼミ）

○講 師：青砥 清一（神田外語大学教授）

○募集定員：**定員満了のため募集終了**

○開催日時：隔週土曜日14時～16時（月2回）

○内 容：前半の1時間は初級～中級レベルのスペイン語演習（文法、聞き取り、作文など）を行います。

後半の1時間は、スペイン・ラテンアメリカの文化・歴史・社会に関するスペイン語文を読んだり、ゼミ生による研究発表を行ったりします。

○受講条件：面接授業「ベーシック・スペイン語1」を受講済みか、またはそれに相当するスペイン語力（直説法 現在修了程度）を有すること。

ゼミはZoomを利用したオンライン形式で実施します。

定員満了のため募集終了



社会と感染症～スピノオフ～（潤間先生ゼミ）

○講 師：潤間 励子（千葉大学教授）

○募集定員：**10名程度**

○開催日時：10月11日（土）、11月22日（土）、12月27日（土）、1月31日（土）、2月21日（土）計5回
各日14～16時を予定（変更がある場合には事前に連絡します）

○内 容：毎年、千葉学習センターで「社会と感染症」という面接授業を行っています。そこで、討論し尽せなかつたテーマについてミニゼミで討論したいと思います。主には感染症が社会に与える影響とその対策について討論したいと考えています。かならずしも医学的な知識が必要ではなく、一般市民がどのように考えるのか？行動するのか？に焦点を当てていきたいと思います。①話題提供②参加者による相互討論③次回のテーマ決め→自宅学習では次回テーマについて情報収集してください という手順で進めたいと考えています。初回テーマは「COVID-19パンデミックを振り返る」とします。

○受講条件：ゼミは原則オンライン（MTeams）で開催 面接授業「社会と感染症」の受講の有無は問いません



生活環境中のカビ（矢口先生ゼミ）

○講 師：矢口 貴志（千葉大学真菌医学研究センター准教授）○募集定員：**10名程度**

○開催日時：土曜または日曜日の午後の2～3時間 10月11日（土）

○内 容：月1回、講義のあと討論するセミナー、残りの時間は、それぞれが自由に観察、実験など行う。
現在、予定しているテーマは以下の通りである。

1. 真菌の分類体系
2. Aspergillus の分類
3. Penicillium の分類
4. 室内環境のカビ
5. 内臓真菌症原因菌
6. 皮膚真菌症原因菌
7. カビ毒
8. カビが産生する有用物質
9. 耐熱性カビ
10. マイセトーマ（皮膚病）の検出

○受講条件：実験室で培養実験等も予定していますので、これらの活動に参加ご希望の方は学生保険への加入が必要です。



薔薇学講座（御巫先生ゼミ）

○講 師：御巫 由紀（千葉県立中央博物館 展示課長）

○募集定員：**10名程度**

○開催日時：原則として毎月第3土曜日 13時～15時

〈年間予定〉

10月25日（土）	秋のバラ園見学1	@神代植物公園（午後開催）
11月15日（土）	秋のバラ園見学2	@新宿御苑（午後開催）
12月20日（土）	バラの歴史	@千葉県立中央博物館 会議室
1月17日（土）	江戸時代のバラ1	@千葉学習センター
2月21日（土）	江戸時代のバラ2	@千葉県立中央博物館 研修室
3月 8日（日）	研究発表会	@千葉学習センター

○内 容：園芸植物として長い歴史を持つバラについて、植物学、歴史、美術等あらゆる面から、バラの魅力を解説する。バラは西洋文化の象徴のように思われているが、約200年前にアジアのバラがヨーロッパに運ばれ、育種に用いられて初めて現代の栽培バラが誕生した。日本に16種類ある野ばらの見分け方、バラの育種において日本の野ばらが果たした役割、オールドローズとモダンローズの系統、日本のバラの歴史等について、教室での講義とバラ園の見学を合わせたゼミを行う。

○受講条件：・野外実習を行うことがあるため、学生保険加入が必要。

- ・『野ばらハンドブック』（文一総合出版）をテキストとして使用。
- ・バラ園等でゼミを行う場合は入園料等が必要となる場合がある。



私の推しの古典文学（柴先生ゼミ）

○講 師：柴 佳世乃（千葉大学教授）

○募集定員：**5名程度**

○開催日時：原則として毎月1回、火曜日 13時～2時間程度。

適宜相談の上、日にちを決定する。10月21日（火）13時～

○内 容：古典文学には、古くて新しいいろいろな要素が詰まっています。日本の古典文学の中で（どの時代でも結構）、自分が興味を持っている／気になる／これから読んでみたい作品を各自取り上げ、その特徴や面白さについて、自由に発表してもらい、皆で議論します。自分の〈推し〉の古典文学の特徴を再発見するとともに、たくさんの作品に触れることで、多様な古典文学の面白さを皆で議論します。

自分の〈推し〉の古典文学の特徴を再発見するとともに、たくさんの作品に触れることで、多様な古典文学の面白さを皆で共有したいと思います。

○受講条件：1年に一度はミニゼミ参加者全員に発表をしてもらう予定です。人文系の調べ方、工具書の使い方、資料の作り方は、受講者に応じてご指南します。まずは自分のやりたいように調べ考察して発表し、それをもとに皆で議論します。自分でチャレンジして「楽しむ」のが一番です。そうすると、新しい世界がどんどん拓けてきます。文学が好きな方、自分の引き出しをより充実させたい方、新しいものに触れてみたい方、どうぞご参考下さい。

以前に開講していた「仏教儀礼を知る、考える、味わう」を発展的に引き継ぐものです。古典文学には仏教と関わる作品が多く、あるいは仏教書そのものを取り上げるのでOKです。ご自由に作品を選んで下さい。



ジェンダー・セクシュアリティについて考える（片岡先生ゼミ）

○講 師：片岡 洋子（千葉大学名誉教授）

○募集定員：**10名程度**

○開催日時：参加者と日程調整の上、月に1回程度、開催しています。

新入生初回 10月30日(木)15時～17時

○内 容：ジェンダー・セクシュアリティについての世界と日本の課題について考えるため、関連した本を読んでいます。2025年度は5月から守如子・前川直哉編『基礎ゼミ ジェンダースタディーズ』

（世界思想社 2025年 1900円税別）を読んで章ごとにレポーターを決めて進めています。本の購入が必要です。

*書名に注意！「メディアスタディーズ」ではなく「ジェンダースタディーズ」です。2023年度は神谷悠一

『差別は思いやりでは解決しない ジェンダーやLGBTQから考える』（集英社新書 2022年）、辻村みよ子『ポジティブ・アクション』

（岩波新書 2011年）、2024年度は、三浦まり「さらば、男性政治」（岩波新書 2023年）、千葉勝美『同性婚と司法』（岩波新書 2024年）を読みました。

主にZoomを利用した遠隔で実施しています。

